

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-	
	やや良く なっている	一般小売店〔青果〕（店長）	それ以外		・季節商品のハウスみかん、マンゴー等の売上が増加している。
		スーパー（経理担当）	販売量の動き		・売上はどの部門も比較的堅調であるが、売上の伸びと客数の伸びに3%ほどの開きがあり、単価は相変わらず下落している。
		乗用車販売店（管理担当）	来客数の動き		・来客数は甚だしく多くはないが、客の動きが安定してきた。景気は底からやや上向いている。買い換え需要が少しずつ出て来ており、イベント時の客も少しずつ増えている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き		・4～5月に比べて、歓送迎会や同窓会等が増えている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き		・先月はサッカーワールドカップの影響で旅行需要が減少したが、今月は、夏休みにかけて家族旅行が順調に伸びている。
		通信会社（総務担当）	販売量の動き		・若干ではあるが、月々の契約件数が先月を上回っている。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き		・夏休み前の仕込みが功を奏し、今のところいい動きで推移している。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子		・企画の相談とか官公庁の発注工事等が増えている。
	変わらない	商店街（代表者）	単価の動き		・非常に読みにくい景気の状態であるが、何かバーゲンなど催事をすれば来客数が増える。ただ、通常の客の消費意欲は乏しい。
		商店街（組合職員）	お客様の様子		・土日ごとのイベントによる集客は効果はあったが、売上にはつながっていない。
		一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	競争相手の様子		・景気にあまり関係なく繁盛していた近隣店が、6月のサッカーワールドカップで客が少なくなり、7月になってもそのまま来客数も販売も減っている。
		百貨店（総務担当）	販売量の動き		・この時期の景気の指標となる中元ギフトは、客数は伸びているものの客単価、1人当たりの買上げ数量ともに落ちており、法人ギフトの売上は大幅な前年割が続いている。衣料品のクリアランスも月後半になるほど動きが鈍くなっている。
		百貨店（売場担当）	お客様の様子		・7月から夏物バーゲンが始まったが、来客数は前年対比110%くらいで推移していたが、商品単価が下がっており、また、2～3点買っていた客が点数を減らしている。客の財布のひもは依然として固い。
		スーパー（企画担当）	お客様の様子		・7月は前年よりも雨の日が多かったうえ、台風が3つも接近したため、鮮魚関係、野菜関係の入荷が少なくなっているが、基調的には単価は悪い中でも据え置かれ、客数も伸びている状況である。
		スーパー（企画担当）	単価の動き		・ボーナスの時期であるが、客数に変化はあまりなく、客単価も例月通り低くなっている。
コンビニ（店長）		単価の動き		・夏休みに入って期待していたが、反対に客数が落ち込んでいる。特に若い学生の来客が減少している。	
コンビニ（販売促進担当）		販売量の動き		・夏休みに入り、パン、おにぎり、サンドウィッチ、弁当が前年よりも減少しており、小、中、高、大学生の客もそう多くない。	
衣料品専門店（店長）		販売量の動き		・中元商戦が今一つ盛り上がり、期待外れとなった。	
衣料品専門店（店員）		販売量の動き		・7月はセール時期に入っているが、思ったほど数字が伸びていない。単価が下がっても、販売量も1人当たりの買上げ点数も増えていない。	
衣料品専門店（総務担当）		単価の動き		・夏物商品の売上が昨年比92%となっており、単価も下がりつつある。	
乗用車販売店（従業員）		それ以外		・低価格の車に動きはあるが、高価格の車の動きは鈍い。	
乗用車販売店（販売担当）		単価の動き		・客の購入価格が、だんだん低価格に移行している。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		その他専門店 [ガソリンスタンド] (統括)	販売量の動き	・ガソリン業界は、販売量自体はほとんど横ばいである。もっとも、客はシビアになっており、単価を周辺店に合わせるか、それより安くしなければ利用しなくなっている。
		一般レストラン (スタッフ)	来客数の動き	・夜の客、県外客、土曜、日曜、祭日の客の入りが少ない。
		都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・客単価が前年比30%近くまで落ち込んでいるが、販売量は変わっていない。
		タクシー運転手	お客様の様子	・先月に比べると、ボーナスが出たせいか人の動きは少し良くなっているが、相変わらず夜は週末だけが忙しい。
		通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・先月に続き、ブロードバンド系の商品の販売が一定の販売数を維持しており、5月以降の売上は横ばい状態で推移している。
		観光名所(職 員)	来客数の動き	・観光施設については、来客数は前年比で1000人ほど増えているが、販売金額は減少している。ゴルフ場については、来客数は前年比約30%減、売上もそれ以上に減少している。
		美容室(店長)	お客様の様子	・毎月、当店で髪を染めていた客が、自分で染めるようになった。パーマをかける時期なのに、カットで終わる客が増えている。
		設計事務所(所 長)	お客様の様子	・全般的に、われわれ建設業界は仕事が少なく、混沌とした状況から抜け出せていない。
		設計事務所(所 長)	お客様の様子	・特に仕事量が増えている訳ではなく、また、将来的に増える可能性も見えてこない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・お客様の購買力がまだ伸びていない。
		住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・契約までの時間が今まで以上にかかっており、客は慎重になっている。価格についても厳しい値下げ要求が続いている。
	やや悪く なっている	商店街(代表 者)	お客様の様子	・高額商品を買う客が少なくなっている。
		商店街(代表 者)	来客数の動き	・商店街は空調設備が整っていないため、夏は暑く、冬は寒い。そのため、客にゆっくりしたり、楽しんでもらえない状態である。また、駐車場の整備が今一つのため、来客数の動きが悪くなっている。
		百貨店(売場主 任)	お客様の様子	・中元のギフトセンターでは、1人当たり買上げ点数が減っている。これが売上げに結びつかない大きな要因となっている。
		百貨店(営業担 当)	お客様の様子	・中元ギフトでは、個人、法人共に前年に比べて送り先の絞り込みが多く見受けられる。
		百貨店(営業担 当)	販売量の動き	・台風等の天候不順、あるいはクリアランスの前倒しにより、ファッション部門は若干伸び悩みという状況である。また、中元商戦もほぼ横ばいとなっている。
		百貨店(売場担 当)	来客数の動き	・来客数が前年比約8%程度ダウンしている。7月20日までは、子供服を除き、全般的に売上げ不振となっている。20日以降は婦人服、子供服、雑貨、見回り品等に若干動きがでてきているが、1品単価もややダウンしているため、全体の売上はさほど伸びていない。
		百貨店(業務担 当)	販売量の動き	・ギフト商品、夏物処分セールなどの動きを見ていても、買い控えの動きが非常に目立っている。
		スーパー(店 長)	販売量の動き	・中元シーズンでは、今まで牽引商品だった精肉、ハム等の食品部門が販売数量が減少している。また、法人需要や、個人客の送り先件数も減っている。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・ギフトシーズンの割には、動きが悪く、客単価が伸びない。ギフトの購入額もやや低めの金額になっている。
		スーパー(店 長)	来客数の動き	・客数が前年の90.2%となっている。ただし、客単価は110.9%となっている。各社とも、タイムバーゲンという形で目玉商品売り、利益確保に走っている。
		スーパー(店 長)	単価の動き	・単価の高いエアコンやスーツの動きが極端に悪くなっている。特にエアコンについては、前年の約半分しか売れていない。
		スーパー(総務 担当)	販売量の動き	・客の動きをみていると、買上げ点数が若干減少気味になっており、客単価も伸びていない。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・7月は大きな祭があるため、人の動きがあるものだが、今年は例年に比べて全く動きがない。中元の動きも例年より悪くなっている。	
		スナック（店長）	お客様の様子	・7月は夏祭があったり、台風の予報が早くに出たりしたため、来客数が少なくなり、開店休業の状態である。	
		タクシー運転手	お客様の様子	・今の時期は暑さのため、利用が増えるものだが、外出する人そのものが少なくなっている。企業も極力タクシー利用を控えているようで、思ったより売上が伸びていない。	
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・プレイ代の安いゴルフ場へ客が流れている。	
		競輪場（職員）	販売量の動き	・7月末に行った競輪事業の全国発売が、前年同期に比べて極端に悪い。単価、来場者数ともに下降傾向にある。	
		美容室（経営者）	来客数の動き	・例年、7月は盆暮れ時といって客が増えるが、今年はそれが無い。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・客との販売契約件数が3か月前から前年割れが続いている。	
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・完成前の売出しから、商品サービスをより充実させたり、値引等を行って販売することが増えている。	
		悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・アーケード街の来街者が激減している。特に日中、午後がひどい状態である。平日、土曜、日曜ともにさっぱりである。
			百貨店（営業担当）	来客数の動き	・暑さのせいもあり、来客数が減ってきている。それに加えて、今月はクリアランスやバーゲンの前倒しの反動減があった。中元も盛り上がっていない。
			百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・ギフトの売上は前年比102と前年をクリアしているが、クリアランスが、6月に前倒したこともあって5ポイントほど前年を下回っている。
			衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・店で行うイベントや売出し等に客が反応を示さなくなっている。
			衣料品専門店（経理担当）	来客数の動き	・客が極端に少なくなっており、入店しても単価の安いものしか買ってもらえない。
	家電量販店（店員）		来客数の動き	・市内にできた大型商業施設の中に、家電量販店が出来たため、そちらに客が流れている。	
	高級レストラン（経営者）	競争相手の様子	・近隣では臨時に休む店が多く、どの店も状況がよくない。		
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・サッカーワールドカップが終わり、ボーナス月に入るため、客が戻ってくるかと思ったが、全然増える傾向にない。		
	スナック（経営者）	来客数の動き	・客の来店間隔が確実に長くなってきている。		
	美容室（経営者）	販売量の動き	・販売量が落ちている。盆前のいつもの忙しさがなく、お中元商品等も今一つ動いていない。		
	企業動向関連	良くなっている	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・食肉関係の商品が前年比約9割くらいに価格が戻っている。BSEの影響も大分薄れてきている。
その他サービス業[物品リース]（従業員）			取引先の様子	・大手スーパー再建の整理がついてきており、取引先のユーザーも先行きが少し明るくなっている。	
やや良くなっている		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が急増している。ただ、短納期であるため、短期間で受注を確保しなければならず大変である。	
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・受注量は増えても、単価は非常に厳しくなっている。	
		建設業（総務担当）	取引先の様子	・取引先の設備投資が以前より活発になっており、そのため改装工事等が受注できるようになっている。	
変わらない		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は中だるみ感が出てきた。来月も休みが多く、そう期待はできない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・半導体関連の業界であるが、大手企業が右肩上りですと成長するかと思われたが、この3か月間は横ばいで先が見えない状態である。その都度その都度の発注で、安定した状況は保てていない。	
		電気機械器具製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・半導体はここ2～3か月は非常に好調だったが、これから先の受注の活力が陰ってきている。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
		建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・官民の設備投資等が低迷しているなか、マンション関係の受注が出てきている。民間においては、見取り参加業者が多く競争が依然として厳しい。	
		建設業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・受注額は増加しているが、価格競争が激しく、利益が見込めない物件が多い。	
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・取引先のIT関連企業で先行きを懸念する声が聞かれる。	
	やや悪くなっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・6月はサッカーワールドカップの悪影響が出て、過去最低の売上であったが、7月もそれを引きずった形で推移している。	
		金属製品製造業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・当社のメイン事業部の受注が減少している。また、競合メーカーの価格値下げに追随する動きが続いている。	
		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・3月頃から半導体関連の動きが良くなっていたが、7月になってから出荷がまた減ってきている。	
	悪くなっている	経営コンサルタント	受注価格や販売価格の動き	・焼酎のみ動きがいいが、これは低価格であるから売れているだけである。	
		繊維工業（営業）	受注価格や販売価格の動き	・物価が下がり続けている。国内生産ではとても単価が合わず、海外へ流れている状況である。	
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が大変悪くなっており、また、商社の販売量も前年度より大幅に落ち込んでいる。特に下請け企業は、雇用を削減する状態にある。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-	
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が増加傾向にある。とくに一時悪かった電気、機械機具、製造業で顕著に表れている。	
	変わらない	人材派遣会社（社員）	周辺企業の様子	・発注、注文等、派遣についてのオーダーや問い合わせが非常に沈滞化している。明るい兆しも見当たらない。	
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・健康食品、化粧関係のコールセンターへの派遣は順調であるが、一般企業への派遣は依然として厳しい。	
		求人情報誌製作会社（総務担当）	求人数の動き	・6月の福岡の求人倍率は若干改善されたものの、0.5%をきっている状態である。中途採用の募集広告はどこも前年よりはやや減っており、厳しい状況にある。	
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	求人数の動き	・新聞広告の求人募集があまり増えていない。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・3か月前に比べて、新規求人数が13%程度減少している。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・新規求職者数が前年比増の傾向が続いている。新規求人もここ3か月対前年比増となっているが、その中身はパート、業務請け負い業等の求人が目立っている。	
		求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・取り扱い求人数が市場で10%、当社で5%ダウンしている。アウトソーシング系も半導体の求人が下火になっている。自動車メーカーの求人が一部、活発になっている。	
	やや悪くなっている	新聞社〔求人広告〕（担当者）	雇用形態の様子	・半導体の求人が一段落して、その他の求人の内容が固定的なものになっている。	
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・6月の新規求職者数が前年比7.3%、有効求職者も同5.7%増加しており、歯止めがかかっていない。	
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前月比、前年比共に減少している。	
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・7月に入り、求人企業及び周辺企業からの問い合わせ等が激減している。福岡県下1,200社を対象にしたアンケートによると、企業側は採用について非常に慎重になっている。	
	悪くなっている				